

指標の意義

・他の医療機関との連携、機能分化を促すための指標

指標の計算式、分母・分子の解釈

・収集期間：1ヶ月毎

	各指標の計算式と分母・分子の項目名	分母・分子の解釈
分子	A) 開設者と直接関係のない他の病院又は診療所から紹介状により紹介された一ヶ月間の患者数+救急搬入患者数 B) 開設者と直接関係のない他の病院又は診療所への一ヶ月間の紹介患者数	近接診療所や同一法人内の紹介は除く 救急搬入患者は、救急用自動車で来院された患者
分母	一ヶ月間の初診患者数	近接診療所の初診患者数は含まない。初診料算定患者が対象。

考察

A) 紹介患者率

【2013年 年間数値報告】

最小値0.00% 25%値14.87% 中央値23.91% 75%値36.22% 最大値88.04%
回答病院 83病院中6病院が1度も回答なし。77病院が未回答月もありますが回答しています。

【考察・分析】

2012年と比較すると、最小値は3.01%→0.00%ですが、25%値13.6%→14.87%、中央値20.42%→23.91%、75%値33.52%→36.22%、最大値76.24%→88.04%でした。この指標は紹介数だけでなく救急搬入数や初診患者数が影響します。その地域でのそれぞれの医療機関が果たす役割、特徴を分析し他の医療機関との連携や機能分化を進めていくことが重要です。

B) 逆紹介患者率

【2013年 年間数値報告】

最小値1.80% 25%値10.93% 中央値14.20% 75%値22.22% 最大値54.66%
回答病院 76病院

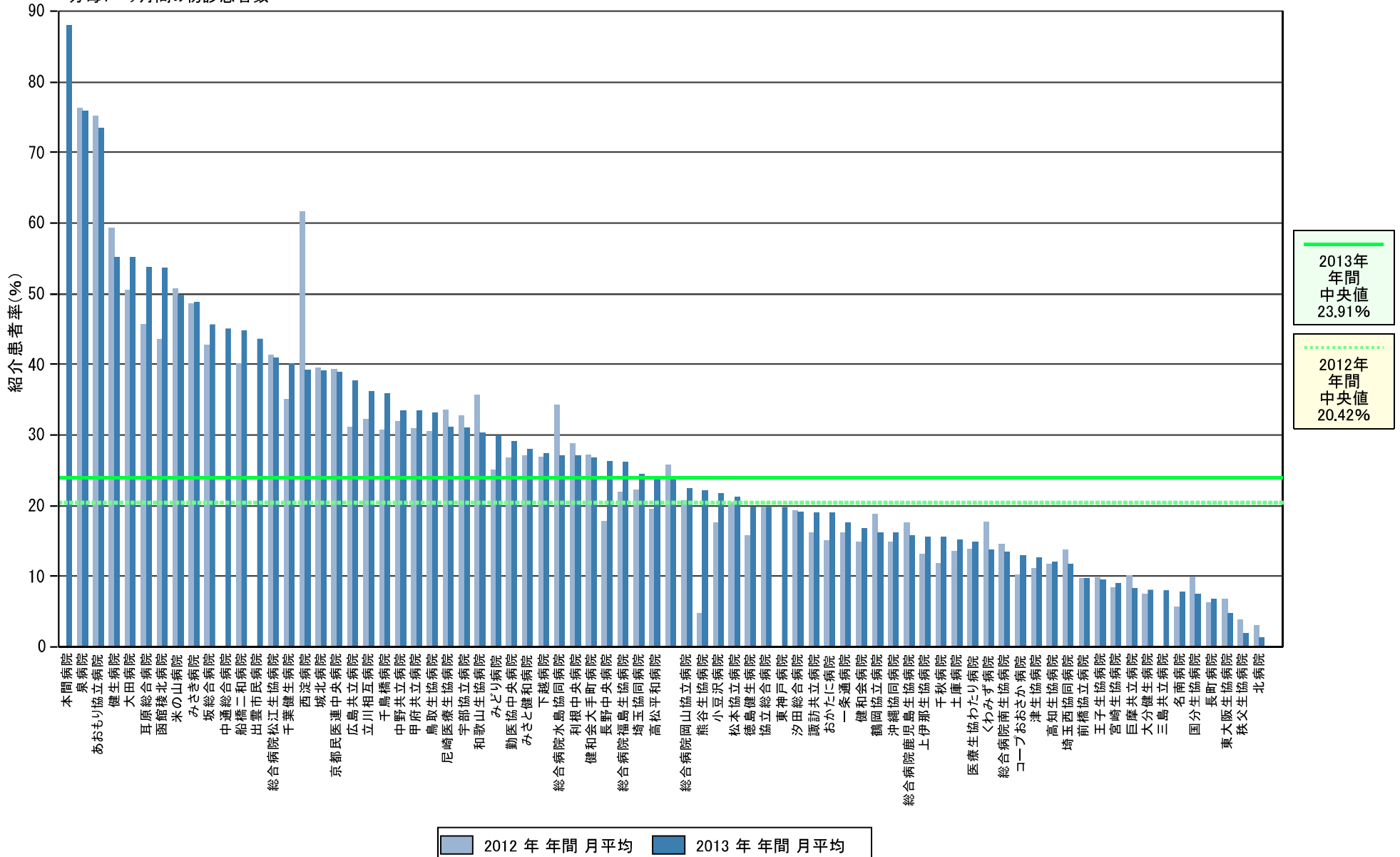
2012年と2013年を比較すると最小値2.78%→1.80% 25%値9.51%→11.08% 中央値13.30%→14.50% 75%値20.51%→22.22% 最大値49.41%→54.66%でした。病院の規模や地域での役割によって変動する値です。他院との比較はなかなか困難ですが、自施設の医療や介護分野への連携を経年的に見ながら情勢にあった医療内容を検討するためには重要な指標です。地域連携パスや退院支援会議などを積極的に活用した連携システムの整備が求められます。

改善事例

・地域連携室を中心に「地域連携」を重視し、病院まわりや広報活動等地道な活動が実を結んでいる。

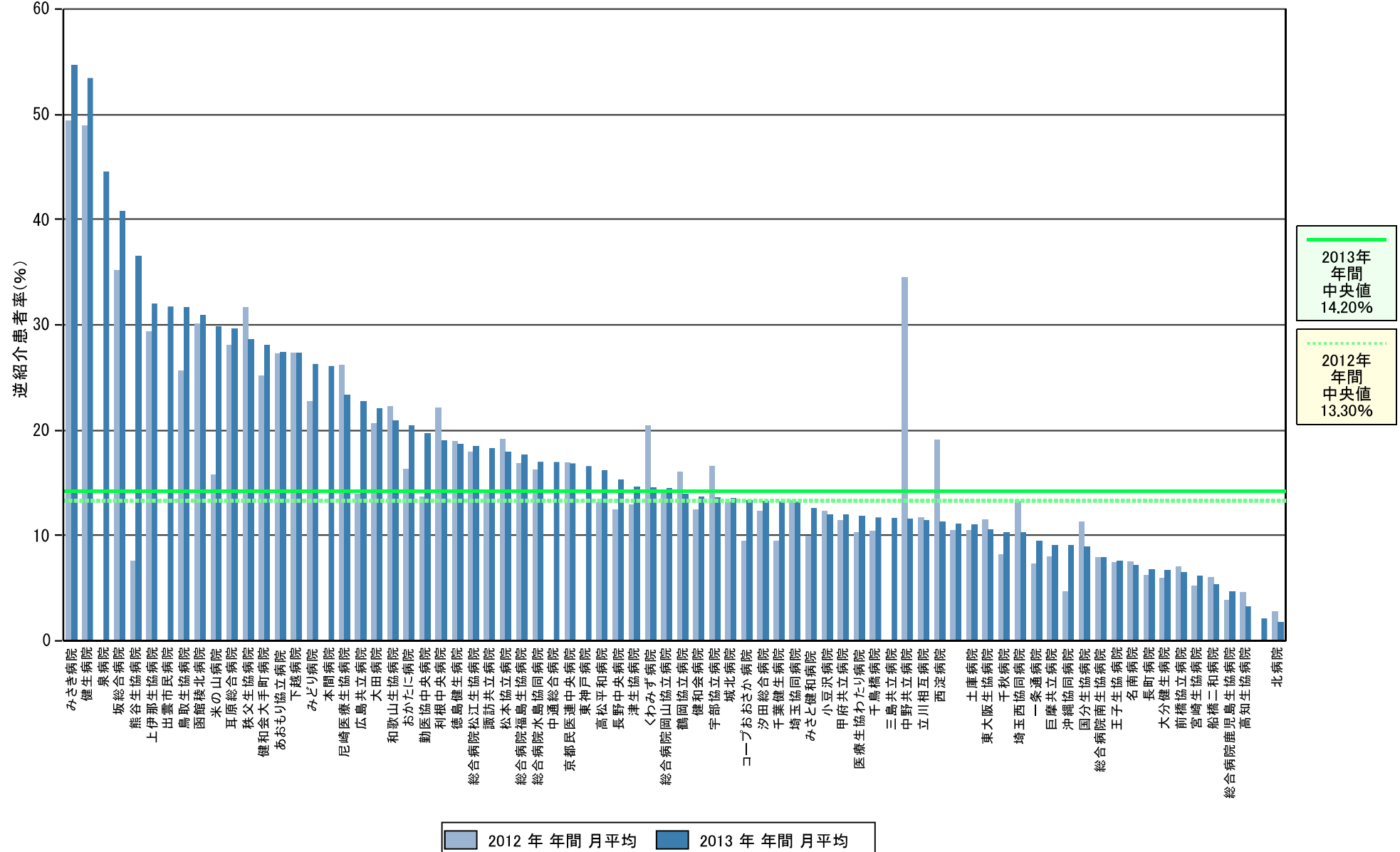
指標22: 紹介患者率

分子: 開設者と直接関係のない他の病院又は診療所から紹介状により紹介された一ヶ月間の患者数+救急搬入患者数
 分母: 一ヶ月間の初診患者数



指標22: 逆紹介患者率

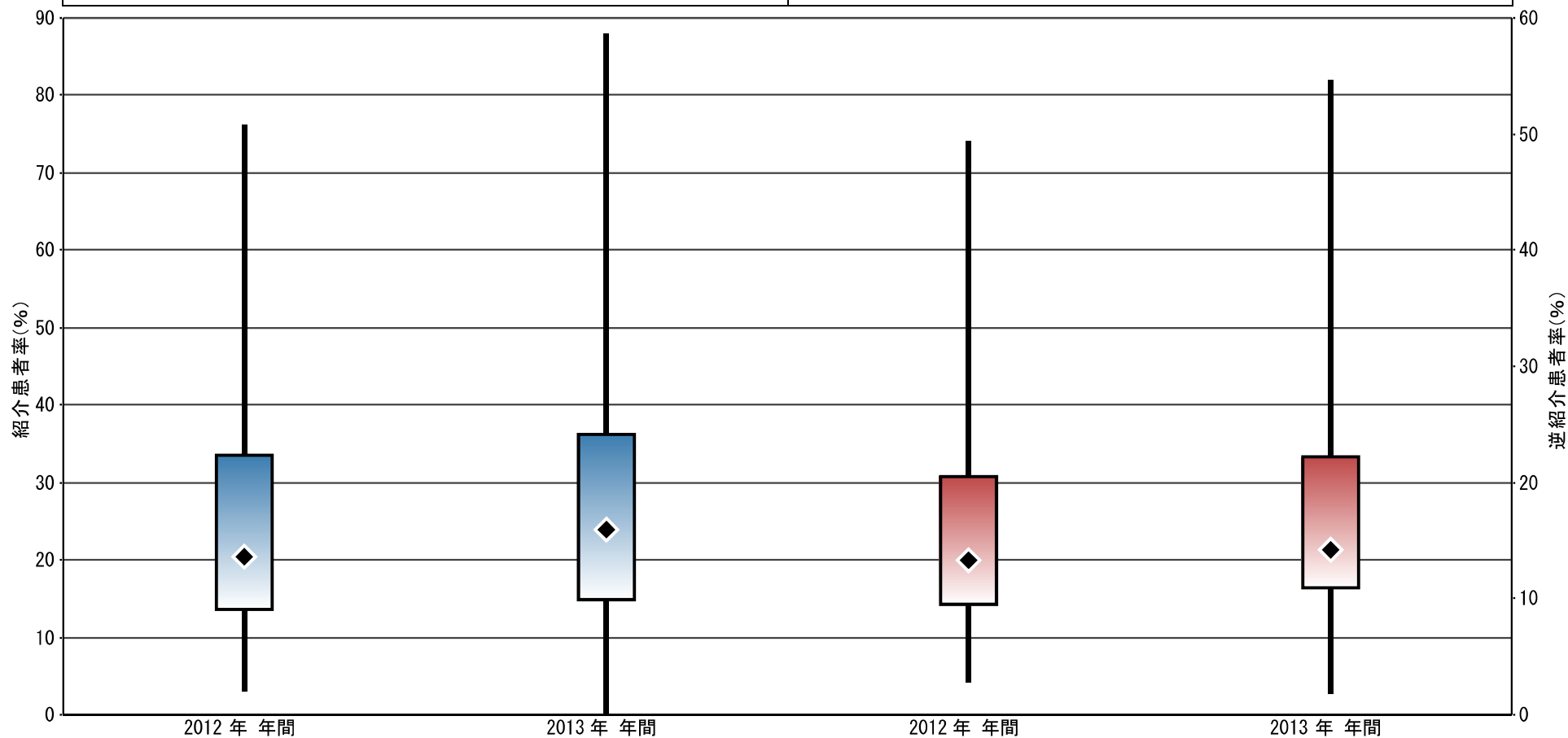
分子: 開設者と直接関係のない他の病院又は診療所への一ヶ月間の紹介患者数
 分母: 一ヶ月間の初診患者数



指標22: A) 紹介患者率 B) 逆紹介患者率

分子: 開設者と直接関係のない他の病院又は診療所から紹介状により紹介された一ヶ月間の患者数+救急搬入患者数
分母: 一ヶ月間の初診患者数

分子: 開設者と直接関係のない他の病院又は診療所への一ヶ月間の紹介患者数
分母: 一ヶ月間の初診患者数



紹介患者率		逆紹介患者率	
最小値	3.01	0.00	2.78
25%値	13.60	14.87	9.51
◆ 中央値	20.42	23.91	13.30
75%値	33.52	36.22	20.51
最大値	76.24	88.04	49.41
● 自病院	(なし)	(なし)	(なし)